

(富山) 公民館

(富山おばけ屋敷プロジェクト) 講座

◆ねらい (解決したい地域課題)

富山学区は、ボランティアとして様々な場面で多くの中学生が活躍しているが、企画から参加しているものが少ない現状がある。中学生自身が主体的に関わり、自由な発想で企画し運営することで、中学生が達成感を味わうとともに、小中学生の交流を図ることを目的とする。平成28年度から実施しており、企画段階から当日まで参加できる中学生を募集し準備期間を2か月設けた。昨年度の反省をいかし、作成過程の中で中学生自らのルールをつくり、成功に向けて努力していくこととした。

◆活動の様子

「小学生はこわがってくれるかなあ」…出し物や会場レイアウトも中学生が考えました。会場準備中。



「こんにちは」小学生の参加は75人で満員御礼！受付も、中学生が交替で行いました。



中学生ボランティアは総勢27人。終わった後はジュースで乾杯！みんなで活動をふりかえりました。



おそろおそろ会場に入っていく小学生。



◆効果 (参加者の声等)

小学生…「こわくてさけびすぎて、のどがいたくなりました。水でぬらされたり、人が急に出てきたりしてビックリしました」「ぼくの足をつかんだりしてこわかった。また、きたいです」「おもしろくて来年ボランティアしたいです。去年より人が話しかけてこわいというより面白かった」「中学生たちが、日々時間を自分たちで作って今日のために2か月もがんばって作ってすごいと思いました」
中学生…「いろいろ自分たちで構成してみて、子どもたちにこわがってもらえるととてもうれしかった。次もボランティアしたいと思いました」「準備などいろいろ工夫したりしたので大変でした」「協力して何かを完成させていく大切さを実感した」「小学生とたくさんふれあうことができたと思いました。準備で何をつくれればいいのかわからなかったけどチームで協力できました」「どうやればもっと怖がらせるか、どうやればうまくいけるかどうかを考えた」

勝央町公民館 青少年カタルバ事業

◆ねらい（解決したい地域課題）

勝央町公民館を拠点に、中高生等の若者の活躍の場を創出することにより、自己肯定感や勝央町への愛着心を高め、地元定着や持続的な地域活動を推進する。

また、大学入試改革により、今後中高生への「キャリア教育」が重要視されることを踏まえ、自らの意見を発言し実行する主体性を身に付けるきっかけを作る。

◆活動の様子



公共の場に自主学習ができる環境を作るため「公民館ロビー活用プロジェクト」を始動。学生だけでなく高齢者や小さいお子さんをお持ちのお母さんにも気持ちよく利用していただけるよう、様々な意見が飛び交う。



予算のことや、中高生の意見を反映させるためにご相談したところ、株式会社ナンバ女子DIY. CLUB様のご理解とご協力を得て、中高生がレイアウトした机などを手作りすることに！



◆効果（参加者の声）

「自分たちが作ったものが、公民館に形として残っていき、そして作ったものを誰かが使ってくれることを考えると、やって良かったと思う。」「普段、何かを買うことはあっても、作り上げることはないので、貴重な体験ができていると思う。」（中高生）

「中高生対象の初めてのワークショップでどうなるかと思っていましたが、電動工具の扱いや、サイズの計り方などの飲み込みも早く、自分たちで率先して作業をしてくれてスムーズに進んだ。また、機会があれば、一緒に何かできたらと思います。」（ナンバ女子DIY. CLUB）

地元企業の方にご協力をいただき、貴重な体験機会となった。